

渋谷区けやきの苑・西原 若年性認知症コースを訪れて

渋谷区で最初に開設された特別養護老人ホーム「けやきの苑・西原」さんの見学をさせていただきました。施設の庭にある多くのけやきの木が、古くから区民のみなさんに親しまれている施設であることをものがたっています。



こちらでは平成 25 年度、渋谷区より若年性認知症のデイサービスを依頼され、毎週日曜日に開催しています。

この度、若年性認知症の方のデイサービス「**ピースマイル**」を訪問させていただきました。

当日は午前中に、次回行う予定のクリスマス会兼忘年のメニュー決めと体操をしました。

メニューを決める話し合いでは意見も活発に出され、特に主婦の方を中心に話が膨らみました。

体操もラジオ体操に始まり、スタッフ指導の筋力トレーニング、血流を良くすることに配慮した手指を使う体操など、バラエティに富んだ運動をしました。

施設内の食堂で昼食を終え、皆さんで決めた都庁に、デイサービスの車で出かけました。

けやきの苑さんは新宿から二駅の施設であり、外出も思いついたところにすぐ行けます。

外出では、外の空気を吸うことで気分も変わり、また話が弾みました。



設備会社にお勤めだった M さんは、展望台からの景色を見下ろしながら、東京の各地の地理を話されたり、主婦の S さんも、以前に都庁の売店で買い物をされたことなど話して下さいました。介護度が進み、あまり話すことが出来ない U さんも、にこにこととても楽しそうでした。

活動の写真は、みなさんの日記として残すため、すぐ印刷し、みなさんで説明を加えます。家に持ち帰ると、ご家族も笑顔一杯の写真の中に、「ピースマイル」での充実した活動を知ることが出来るので、安心できると感じました。

「ピースマイル」では通われている皆さんとスタッフが馴染みの関係になっており、会話の端々にも「今度**ピースマ**で…」「これは**ピースマ**風〇〇だね」などの会話が行き交い、「ピースマイル」が生活の一部になっている様子でした。スタッフの方の細やかな視点が、行き届いた活動を作っていると感じました。

ビースマイルとは

名前の由来は、「**いつも笑顔で**」という意味を込めてご利用者とスタッフ皆で決定しました。

それぞれの思いを抱えながら、その思いを仲間で共有し、笑顔で1日過ごせる場を目指しています。



ビースマイル担当 前田氏より ひとこと

若年性認知症は、いつ誰が発症しても不思議ではありません。しかし高齢者の一般的な介護サービスには馴染めない方も多いのでは？

「ビースマイル」は、開始してからまだ1年と少し・・・

ご利用者・ご家族への十分な支援とは言えませんが、外出プログラム等を通して楽しんで頂くと共に人と社会との繋がりを大切にしていきます

ビースマイル（けやきの苑・西原）

につきましてはこちらのHPを

ご覧下さい

<http://www.m-keyaki.jp/>

